

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 水曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 201・中部講堂	
対象学生(クラス等) Eg T23A	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 石坂丞二/Eメールアドレス: ishizaka@nagasaki-u.ac.jp /研究室:水産学部/TEL:819-2804 /オフィスアワー:授業直後 石松隆和/Eメールアドレス: ishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:工学部/TEL:819-2508 /オフィスアワー:月3校時 岡市協生/Eメールアドレス: okaichi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:医学部/TEL:849-7102 /オフィスアワー:16:00~17:30 近藤 寛/Eメールアドレス:kondo-h@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部/TEL:819-2337 /オフィスアワー:15:00~17:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 :特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」3回、長崎「安全・安心」1回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。 授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 海洋と文化:島と半島からなり、全国2位の海岸線に囲まれる長崎は、歴史的に見ても海洋との関わりが深い。3回の講義では、航海と海洋学の歴史、長崎県と水産業、海洋環境問題の3つのトピックについて学び、長崎県と海洋、さらに人間と海洋の関係について考える。 長崎(安心・安全):長崎に暮らす高齢者や障害者の生活の現状を眺め、安全安心のためになにが必要かについて述べる。 平和:原爆被爆地にある長崎大学の学生が、平和を考える一環として原爆を取り上げる。 (1)原爆と放射線、(2)原爆の影響、(3)原子力発電と核拡散、について講義する。 原爆と放射線に関する知識を持ってもらうとともに、原子力発電にも関心を持ってもらいたい。 長崎: 第1回 長崎県の地層、岩石、化石、鉱物などの分布と地史、地質災害、火山景観、及び化石・鉱物の外国への紹介について学ぶ。 第2回 地質資源として石炭産業と観光事業、陶石・砕石・硯石などの岩石の利用、及び長崎県の地質と風力発電建設について学ぶ。 第3回 長崎県の天然記念物(地質・鉱物)、石垣・石碑など建造物での石材の利用、及び街角の岩石を学ぶ。また、石碑等から外国との交流について知る。 第1回 4月16日 特別講演Ⅰ 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月23日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第3回 4月30日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第4回 5月 7日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第5回 5月14日 長崎(安全・安心) 高橋和雄(工学部) 第6回 5月21日 特別講演Ⅱ 岩永 浩 (名誉教授) 第7回 5月28日 平 和 岡市協生 (医学部) 第8回 6月 4日 平 和 岡市協生 (医学部) 第9回 6月11日 平 和 岡市協生 (医学部) 第10回 6月18日 特別講演Ⅲ 水田善次郎(名誉教授) 第11回 6月25日 特別講演Ⅳ 加藤有三 (名誉教授) 第12回 7月 2日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第13回 7月 9日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第14回 7月16日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第15回 7月23日 特別講演Ⅴ 福永博俊 (教育担当理事)			

キーワード	<p>海洋と文化:船、水産業、海洋環境 長崎(安全・安心):高齢者、地域、福祉、共生 平和:原爆、放射線、原子力発電 長崎:地質、石材、天然記念物、資源</p>
教科書・教材・参考書	<p>海洋と文化:特に指定しない。授業時に必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を紹介する。 長崎(安全・安心):なし 平和:参考書:「原爆災害 ヒロシマ・ナガサキ」 岩波現代文庫 長崎:教材として資料を配布して説明する。</p>
成績評価の方法・基準等	<p>長崎27点、長崎(安全・安心)9点、平和27点、海洋と文化27点、特別講演10点の配点とする。 長崎:毎回の授業レポート、ビデオ視聴のレポート、及び出席状況で評価する。 長崎(安全・安心):レポート 平和:毎回の小レポート、各9点 海洋と文化:小テストとレポート</p>
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	